

安全上のご注意

このバッテリーパックは有機溶媒などの可燃物を使用しています。取り扱いを誤りますと発熱、発煙、破裂、発火のおそれ、性能低下、故障の原因となりますので、次の禁止事項を必ずお守りください。

⚠ 危険

- 電池を分解したり、改造しないでください。電池には、危険を防止するための安全機構や保護装置が組み込まれています。これらを損なうと、電池が発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
 - (+) と (-) を針金などの金属で接続しないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管しないでください。電池がショート状態となり、過大な電流が流れ、発熱、発煙、破裂、発火したり、あるいは針金やネックレス、ヘアピンなどの金属が発熱する原因となります。
 - 電池を火の中に投入したり加熱しないでください。絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したり、電解液に引火したりして発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
 - 電池を火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所（80℃以上）に放置しないでください。熱により樹脂セパレータが損傷した場合、電池が内部ショートし、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
 - 電池を水や海水などにつけたりしないでください。電池に組み込まれている保護装置が壊れると電池が発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
 - 火のそばや、炎天下などでの充電はしないでください。高温になると危険を防止するための保護装置が働かず、充電できなくなったり、保護装置が壊れて異常な電流や電圧で充電され、電池内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
 - 電池の充電には、専用充電器を使用してください。その他の充電条件（指定以上の高い温度、指定以上の高い電圧・大きな電流、改造した充電器など）で充電しますと、電池が過度に充電されたり、異常な電流で充電され、電池内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
 - 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。電池が破裂、変形され内部でショート状態になり発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
 - 強い衝撃を与えたり投げ付けたりしないでください。電池を漏液、発熱、発煙、破裂、発火させる原因となることがあります。
- また、電池に組み込まれている保護装置が壊れると、異常な電流や電圧で充電され、電池内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

- 外傷、変化の著しい電池は使用しないでください。発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 電池に直接ハンダ付けしないでください。熱により絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したりして発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- (+) と (-) とを逆に使用しないでください。充電時には逆に充電され電池内部で異常な化学反応が起きたり、放電時に思わぬ異常な電流が流れたりして、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 電池は (+) と (-) の向きが決められています。充電器や機器に接続するときにうまくつながらない場合は無理に接続しないで、(+) と (-) の向きを確かめてください。逆につなぐと電池が逆に充電され、内部で異常な化学反応が起こり、電池が発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- 電池を電源コンセントや、車のシガレットコンセントなどに接続しないでください。高い電圧を加えられることによって過大な電流が流れ、電池が発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- この電池を指定機器以外の用途に使用すると、電池の性能や寿命が低下したり、機器によっては、異常な電流が流れたりして電池が破損したり発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。放置すると液により目に障害を与える原因となります。

⚠ 警告

- 充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。電池を発熱、発煙、破裂、発火させる原因になるおそれがあります。
- 電子レンジや高圧容器に入れないでください。発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 電池が漏液したり異臭がするときにはただちに火気より遠ざけてください。漏液した電解液に引火し、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱をしたり、変色、変形その他今までと異なることに気がついたときには機器あるいは充電器より取り出し、使用しないでください。そのまま使用すると、電池が発熱、発煙、破裂、発火する原因となるおそれがあります。
- 危険な場所でのバッテリーの交換や充電をしないでください。

使用上のご注意

- お使いになる前に必ず充電してください。
- 周囲の温度が 5℃～40℃の場所で充電を行ってください。
- 直射日光の当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には、置かないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- ご使用後は自然放電を減らすために、機器からはし、温度の低い乾燥した場所で保存してください。
- 長期間保存される時は、電池の劣化を防ぐため、機器から外し、なるべく放電された状態で、温度が低く(25℃以下)乾燥した場所で保存してください。また過放電を防ぐため1年に10分程度の充電を行ってください。

バッテリーパックの特性について

- 充放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。
- 使用せずに置いておくだけでもわずかながら電池の劣化が進みます。
- 低温での充電時間は、室温時より長くなる場合があります。
- 高温状態で充放電を行ったり、無線機を使用すると寿命が短くなります。また、高温状態での保管も劣化の進行が早まります。車の中に置いたままにしたり、暖房機の上に置いたりしないでください。
- 満充電しても使用時間が短くなってきた場合は、電池の寿命です。このまま充放電を繰り返すと、液漏れの原因となることがあります。新しいバッテリーパックをお買い求めください。

アフターサービスについて

アフターサービスについては、ご購入の販売店、当社サービスセンターにご相談ください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より**1ヶ月間**です。正常な使用状態において、製造上の不備に起因する故障が生じた場合は、お買い上げの日から1ヶ月間は無償保証いたします。この場合は、領収書などお買い上げ年月日を証明できるものの提示が必要です。

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル ☎ 0120-2727-87

<発信者番号が非通知の場合は、『0120』の前に『186』をつけてからおかけください。電話番号を良くお確かめの上、おかけ間違いのないようにご注意ください。>

携帯電話・PHS・一部のIP電話などフリーダイヤルがご利用になれない場合は、045-450-8950

FAX 045-450-2308

住所 〒221-0022 横浜市神奈川区守屋町3-12

受付日 月曜日～土曜日(祝祭日・弊社休日を除く)

受付時間 月～金曜日

9:30～18:00

土曜日

9:30～12:00、13:00～17:30

使用済み充電式乾電池の取扱注意事項

- プラス(+)端子、マイナス(-)端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。



Li-ion 00
充電式

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店、当社営業担当窓口または代理店へお持ちください。
リサイクルにご協力をお願いいたします。